

2017 年度（平成 29 年度）第 3 回（臨時）理事会議事録

1. 日 時：2018 年 3 月 23 日（金）13:30～15:00
2. 場 所：サイカパーキング(株) 7F 会議室
3. 出席者：高橋洋二会長、森井博専務理事、池田敏夫、中島敦、内田勉
陪席：武田有紀、和島由尚、木村元
事務局：青木美雪、山内和(敬称略)
(理事 5 名、委任状 7 名、陪席 3 名、事務局 2 名)

4. 内 容：

《報告事項》

① ロードマップ進捗状況

事務局より計画通り進捗していることを報告した。

② 行事報告

1) 顧問会（顧問会・情報交換会出席：20 名）

→収支がマイナスだが、予算に対してはどうなっているのか？という質問があり、事務局より予算の範囲内であると答えた。

※次回行事報告より収支に対応する予算の欄を作成して分かり易くする。

《検討事項》

① 全国自転車問題自治体連絡協議会（全自連）入会について

趣旨：全自連の総会の場で講演等を行い、自治体関係者に協会をアピールするため、賛助会員になる必要がある。

年会費：1 万円（賛助会員）入会金：なし 2018 年 4 月からの入会を希望

→理事会の承認を得て、事務局が入会手続きを行う。

② 2018 年度総会資料（素案）について

1) 2017 年度事業報告案（資料④-1）→ 文章を若干修正した。

2) 2018 年度事業計画案（資料④-2）→ 文章を若干修正した。

《具体的活動》の総務部会の項に以下 2 点を追加する。

・他団体（自駐工）と合同で勉強会を行う

・研修会（講演会）を年 3 回実施する

3) 2018 年度予算案（資料④-3）

事務局より、会員減による収入減で収支が悪化している現状をご報告する。
経費の節減及び、協会の認知度を上げ会員増（=収入増）につなげるための
プラン立案&実行が急務である、と課題が共有された。

<具体的な活動案など>

- ・現状のままでは会員増の見込みはあまりない（シェアサイクル新規参入の企業等に声掛けはしているが反応は芳しくない旨事務局長から報告）
- ・シェアサイクル導入を検討する自治体・コンサルティング会社に対し、講演会を開催して会費を徴収するなど収入を得てはどうか
- ・自駐工様等のイベントに相乗りさせてもらい、経費を浮かせる。
- ・理事会だけではなく、総務部会で活性化の議論をする。
- ・「シェアサイクルの今」の発行について、国交省等、国からの助成を受けられるよう働きかけていく必要がある。
- ・「シェアサイクルの今」第3版→ホームページ上で改訂していき、印刷は見合わせる。印刷物は What' s シェアサイクルの改訂・増刷に留め経費を削減する。
- ・現在ある第2版を、会員企業がイベントに出展する際ブースで販売してもらう。委託販売か、会員企業に安く卸すかは個別に要相談とする。その他、自転車業界の著名人にサインしてもらう等付加価値をつけるというアイデアも出た。
- ・経費節減のため、総会の来賓を極力減らす等努力は必要。
ただし協会の認知度を上げて会員を増やすための経費（＝広告）を削ってしまうのはよくない。パーキングプレス誌への広告は費用については発行人に相談して少なくしてもらい（年額 842,000 円→10,800 円）、継続することになった。
- ・協会の認知度を上げるため、会員の名刺に協会ロゴを入れる、イベント出店の際ブース内に協会ロゴを貼る等する。

4) 役員名簿（資料④-4）→特に問題なく承認された

5) 2018 年ロードマップ案（資料④-5）

- ・顧問会は9月に年1回開催とする。
- ・技術部会の見学会と自駐工の研修会を合同で開催する機会を設ける。
- ・6月の総務・技術・広報合同部会の日付を14日から21日に変更
- ・4月整備センターの海外研修旅行→後日報告会をする予定なので、その開催に合わせて研修会をさせてもらう

6) 2018 年度組織図案（資料④-6）→技術部会担当者氏名訂正。

その後問題なく承認された。

7) 会員名簿 変更あれば速やかにご連絡いただく。

5. 今後の予定：

◎理事会：4月12日（木）13：30～

◎社員総会：5月15日（火）11：00～ 懇親会：12：00～

◎総務・技術・広報合同部会：6月21日（木）13：30～

以上

以上の議事の経過及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事がこれに記名押印する。

平成 30 年 3 月 30 日

一般社団法人 日本シェアサイクル協会

代表理事

森井 博

